



形材門扉用 ラッチ錠取付けマニュアル

この度は、新日軽の製品をお買いあげいただき誠にありがとうございます。
正しく施工していただく為、このマニュアルをお読みください。
施工完了後は、本マニュアルをお施主様へお渡しください。

■ 梱包内容

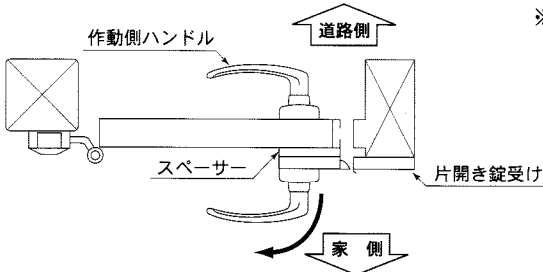
部 品 名	片開き	両開き
外部化粧座(作動側)	1	1
内部化粧座(作動側)錠本体付き	1	1
外部化粧座(固定側)	—	1
内部化粧座(固定側)受け本体付き	—	1
外部レバーハンドル	1	2
内部レバーハンドル	1	2
外開き用ストライク(片開き用・両開き用)	1	1
片開き用スペーサー(t=10.5)	1	—
ワッシャー	2	4

部 品 名	片開き	両開き
片開き用受け	1	—
片開き用受け取付け裏板	1	—
片開き用受け取付けビス 皿M6×30	2	—
化粧座取付けビス 皿M4×35(両開き)	—	6
化粧座取付けビス 皿M4×40(片開き)	3	—
ハンドル固定ビス ナベM4×8 Sタイト	1	2
キー	3	3

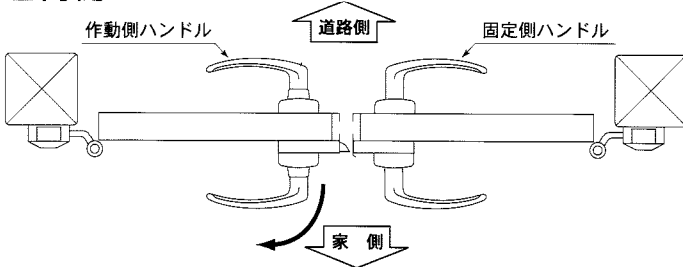
※キーは空錠タイプの場合付属しません。

● 開き勝手の確認

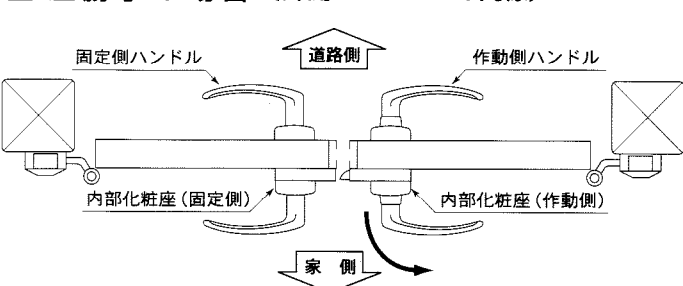
■ 片開き



■ 両開き

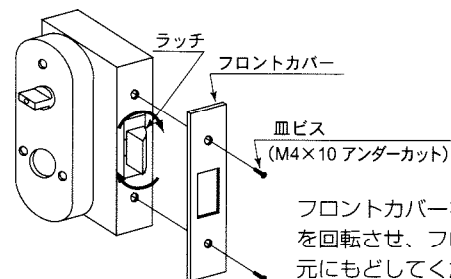


■ 左勝手の場合(片開きについても同様)



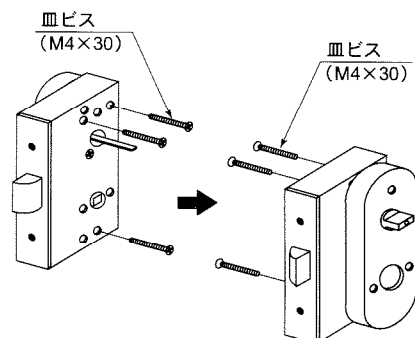
この錠は右勝手、内開き用にて工場出荷をしています。
※このマニュアルは、すべて外観視右勝手で表しています。又、RB錠をベースに記載してあります。RD錠・RBS錠共に取付け方法は同様です。
※片開きの直付け納まりには、対応できません。

- 勝手の確認を行います。
開き勝手の変更については下記をご覧ください。
- 右勝手・外開き / 左勝手・内開きの場合は、ラッチの向きを変えてください。



フロントカバーを外し、ラッチを回転させ、フロントカバーを元にもどしてください。

- 左勝手の場合は、下図の方法に従って、内部化粧座(作動側)・(固定側)共に勝手を変更してください。



片開きの場合

外觀視 右勝手・内開きを表します。

1 作動側ハンドルの取り付け

- ❗ サムターンツマミが施錠状態であること、外部化粧座の裏面の目印の位置が(図1)の様な状態にあることを必ず確認してください。
- 1) スペース(t=16.5)を門扉と内部化粧座の間にはさんでください。
 - 2) 外部化粧座と内部化粧座を切り欠き穴に挿入し、皿ビス(M4×40)で固定してください。(連結板は確実に外部化粧座の角穴に差し込んでください。)
 - 3) 外部レバーハンドルを角穴に挿入し、続けて内部レバーハンドルを挿入してください。
- 作動チェックをした後、ハンドル固定ビスを締め固定してください。

作動チェックポイント

- サムターンツマミでの施錠・解錠
- レバーハンドルの動作

作動がかたい場合

- 化粧座取り付けビスの締めすぎが考えられます。
- ワッシャーは入っていますか？

※キーは、空錠タイプの場合、ありません。

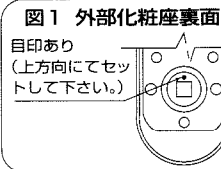
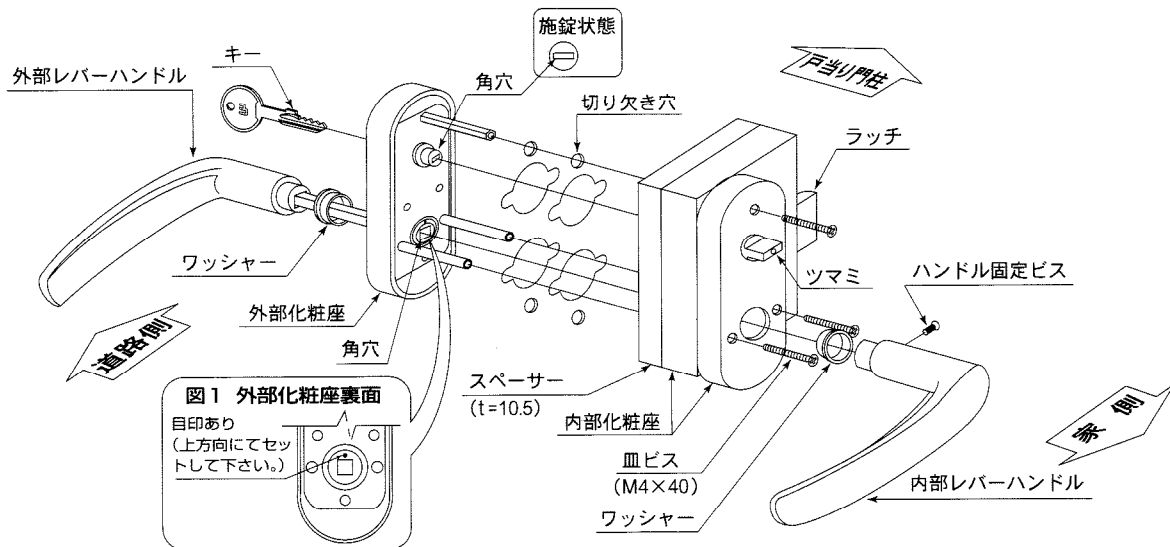


図1 外部化粧座裏面
目印あり
(上方向にてセットして下さい。)

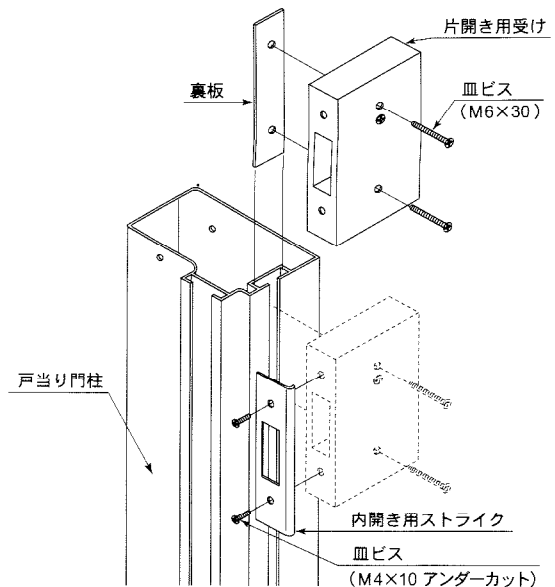
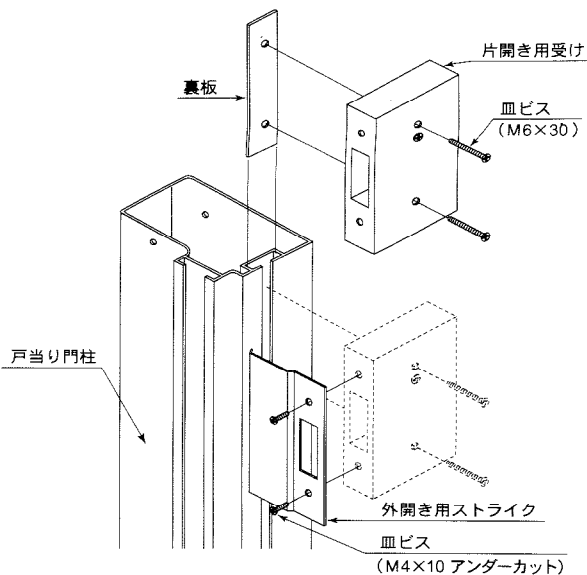
2 片開き用受けの取り付け

●内開きの場合

- 1) 受けと裏板を皿ビス(M6×30)で仮組みしてください。
- 2) 戸当り門柱のミゾへ上より1)で仮組みしたものを挿入します。(戸当り門柱キャップがすでに取付いている場合は、はずした後、作業をしてください。)
- 3) ラッチの位置に合わせて、確実にビスを締め込んでください。

●外開きの場合

- 1) 受けと裏板を皿ビス(M6×30)で仮組みしてください。
- 2) 戸当り門柱のミゾへ上より1)で仮組みしたものを挿入します。(戸当り門柱キャップがすでに取付いている場合は、はずした後、作業をしてください。)
- 3) ラッチの位置に合わせて、確実にビスを締め込んでください。
- 4) 片開き用受けについている内開き用ストライクを外開き用ストライクに付けかえてください。



1 作動側ハンドルの取り付け

サムターンツマミが施錠状態であること、外部化粧座の裏面の目印の位置が（図1）の様な状態にあることを必ず確認してください。

- 1) 外部化粧座と内部化粧座を切り欠き穴に挿入し、皿ビス(M4×40)で固定してください。(連結板は確実に外部化粧座の角穴に差し込んでください。)
- 2) 外部レバーハンドルを角穴に挿入し、続けて内部レバーハンドルを挿入してください。
作動チェックをした後、ハンドル固定ビスを締め固定してください。

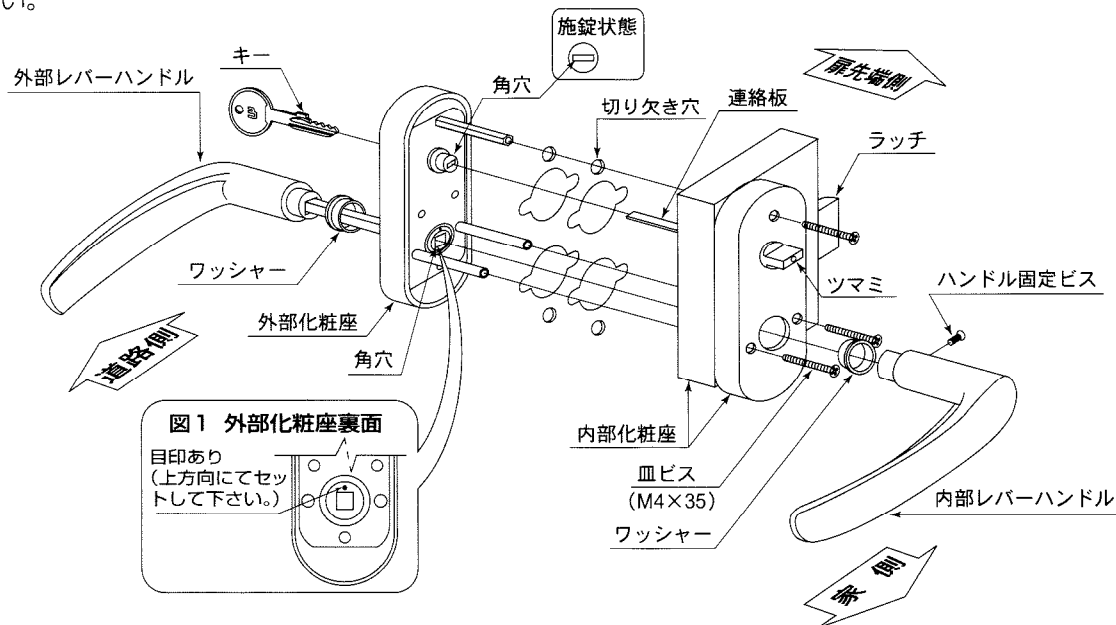
作動チェックポイント

- サムターンツマミでの施錠・解錠
- レバーハンドルの動作

作動がかたい場合

- 化粧座取付けビスの締めすぎが考えられます。
- ワッシャーは入っていますか？

※キーは、空錠タイプの場合、ありません。

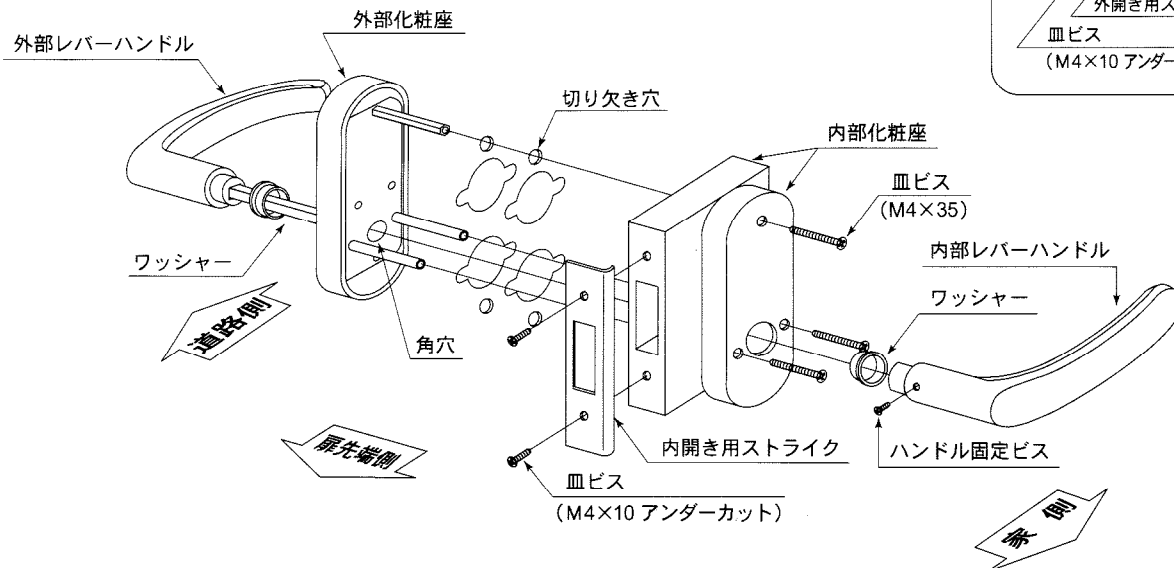
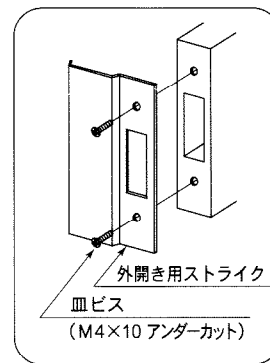


2 固定側ハンドルの取り付け

- 1) 外部化粧座と内部化粧座を切り欠き穴に挿入し、皿ビス(M4×35)で固定してください。
- 2) 外部レバーハンドルを角穴に挿入し、続けて内部レバーハンドルを挿入し、ハンドル固定ビスで締めてください。

外開きの場合

レバーハンドルの取付け後、内開き用ストライクを外開き用ストライクに付けかえてください。



●錠の取り扱いについて

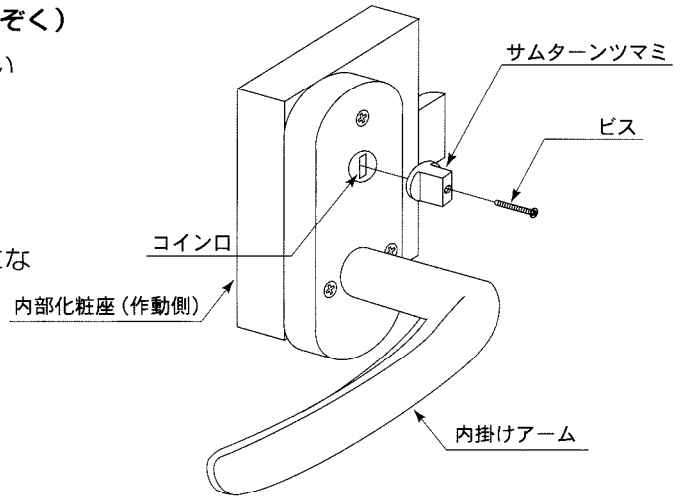
1 非常開仕様の変更について（空錠をのぞく）

内側に手を入れて簡単に解錠されたくない
簡単に施錠をされたくない



内部側のサムターンをはずすことができます。
はずした場合、次の様に施・解錠を行うようになります。

- 外部からの施・解錠 …………… キー
- 内部からの施・解錠 …………… コイン等



2 キー番号について

万一、キーを紛失した場合は、下記部分に番号が入っています。
手配方法等は、別紙「お取り扱いの手引き」をご覧ください。

